

## 泊発電所の緊急安全対策等に関する説明について [開催概要]

- 日 時：平成23年5月17日（火）13：00～15：10
- 場 所：北海道庁3階 知事会議室
- 説明者：経済産業省原子力安全・保安院 山本 原子力発電検査課長
- 道・4町村出席者：泊村（副村長）、共和町（副町長）、岩内町（副町長）、神恵内村（副村長）、北海道（危機管理監、原子力安全対策担当局長） 他

### 【国の説明概要】

#### ○緊急安全対策への対応状況

泊発電所については、緊急安全対策はこれまで適切に講じられてきており、また、技術基準等の法令上の安全基準は満たしている。安全確保の信頼性をより一層高めるための中長期対策が計画されていることを確認。

#### ○浜岡原発と泊発電所の違い

泊発電所周辺では、これまでの評価・確認結果から、規模の大きな海溝型地震の発生する確率は非常に小さい。

#### ○安全上の位置付け

仮に、福島第一原発と同程度の津波が襲来したとしても、緊急安全対策が講じられていることから、泊発電所の安全性は確保されている。

#### ○上記より、原子炉の継続運転や運転再開することは安全上支障ない。

### 【主な質疑応答】（→原子力安全・保安院 回答）

#### ○緊急安全対策で整備された機材の維持管理について

→・事業者では点検計画を作成しており、年4回の保安検査や日々の保安調査で確認していく。

#### ○冬期間等における各種訓練の実施について

- ・様々な環境条件で検証するため、年数回実施する予定で、保安検査官が立ち会う。
- ・訓練で抽出した課題をもとに改善を図るとともに、改善点を全事業者で共有化するよう指示。
- ・冬季訓練の実施など指導していきたい。

#### ○緊急安全対策に係る住民周知について

→・一日保安検査官事務所など保安検査官事務所が有する各種広報ツールを通じて、住民へわかりやすく情報提供していきたい。

#### ○防潮壁の設置など中長期対策の早期実施について

- ・中長期対策も早急に着手することが基本。
- ・具体的な計画は明確化し、期間内での対策完了を指示するとともに、実施状況を保安検査や保安調査で確認する。

#### ○福島第一原発事故と地震の関係について

→・地震の影響については、これから出てくるデータを見極めていく必要があると考えている。

#### ○浜岡原発の停止に係る地震発生確率について

- ・浜岡原発の地震発生確率(84%)にはプレート海溝型地震を想定に入れたものであるが、福島第一の地震発生確率(0%)には今回発生したプレート海溝型地震を想定に入れていない。
- ・泊周辺には規模の大きい海溝型地震の発生する確率は非常に少ない。